

専修大学校友会「執行部会」次第

1. 日 時 令和7年4月17日（木）19時00分

2. 場 所 神田校舎1号館8階 8A会議室

3. 議 題 (1) 令和6年度事業報告（案）について

(2) 令和6年度収支決算報告（案）について

(3) その他

4. 諸報告 (1) 「留学生を囲む会」の開催結果について

(2) 黒門倶楽部の会員募集状況について

(3) 今後の会議・行事等日程について

(4) その他

配布資料

1－1 令和6年度事業報告（案）

1－2 各部会から提出された令和6年度事業報告書

2－1 令和6年度一般会計収支決算書（案）及び特別会計収支決算書（案）

2－2 令和7年度一般会計収支予算書（案）及び特別会計収支予算書（案）

3 令和7年度校友会・育友会共催「留学生を囲む会」開催結果について

4 今後の会議・行事等日程について

以 上

令和 6 年度 事業報告（案）

（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）

○令和 6 年度事業の基本的な考え方について

- 1 令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症の分類が 2 類から 5 類に移行されたことに伴い、その後の校友会活動は、感染状況の推移を見ながら実施してきたが、令和 6 年度は完全に移行前に戻すとともに、新規事業も積極的に計画し、一層の活性化を図ることとした。
- 2 校友会活動の重点としては、①本部活動の強化、②支部活動の促進支援、③大学・学生への援助協力の 3 点を主眼として推進することとした。
- 3 本部活動については、主な推進事業として、今年度は昨年度と比べて役員の任期満了（3 年間）による改選、全国支部長会の開催、全国横断的な校友会特別支部としての黒門倶楽部の設立などが計画されたため、これらの事業を含め、事業計画に基づき、校友会全体の活性化を目指して効果的に推進することとした。
なお、校友会財政基盤の源である年会費については、近年、納入者数が減少の一途にあったが、様々な増加対策を推進してきた結果、3 年前から増加傾向に転じてきたことから、令和 6 年度においても、引き続き、増加対策を重点として推進することとした。
- 4 支部活動の支援については、令和 5 年度に改正した「支部活動支援パッケージ」の活用促進を図るとともに、校友会長をはじめとする本部役員及び親善大使を出来る限り支部総会等へ派遣するなど、支部活動活性化への支援を積極的に行うこととした。
- 5 大学・学生への援助協力については、大学業務への支援及び学生の文化・スポーツ活動への支援を引き続き実施するほか、専修大学・石巻専修大学「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金への支援協力を行った。

○事業項目別報告について

I. 校友会組織の強化

1. 支部の活動支援、結成促進等

(1) 支部数

令和7年3月31日現在

支部区分	支部数	備考
地域支部	201 (連合24含む)	* 特別支部「黒門倶楽部」が新設された。 * 令和7年3月31日をもって、宇部・山陽小野田支部が解散した。
同窓会支部	2	
海外支部	6	
職域支部	67	
同期会支部	39	
特別支部	1	
合 計	316	

(2) 支部と本部との連携強化

支部会員に校友会及び母校の活動状況が把握できる資料を送付するなど、支部活動への支援を実施した。

支部活動	支部総会等総数 131 回	本部役員派遣 のべ 78 名
配布資料	校友会誌『鳳翼』、『ニュース専修』、『校友会年会費納入のご案内』、『校友会年会費振込用紙』、『校友会のご案内』、『生き残りをかけた大学改革と本学の立ち位置』、『専修大学・石巻専修大学への募金のお願い』、『専修大学グッズカタログ』、『アンケート』等	

(3) 「ネットでも繋げよう校友会」の推進

①支部ホームページの活用促進

支部活動の活性化に資するため「ネットでも繋げよう校友会」の推進・普及を図った。

具体的には、本部のホームページ（HP）内に支部単位のHPを作成し、そこにリンクを可能にすることで、支部内及び校友会内の情報伝達・交流が一層、広く・早く・活発に行え、支部活動を中心とした校友会活性化の一助になることを目的としている。

令和6年度末現在、希望した各支部の支部HP管理責任者にID・パスワードとマニュアルを渡し、運用を開始している支部は316支部中76支部である。

②「専 SHOKU NET」サイトの活用促進

令和5年11月に開設した「専 SHOKU NET」は、校友が経営する飲食店をサイト上で紹介、会員や準会員（学生）など大学関係者の利用に供することにより校友会活性化の一助とすることを目的としている。令和6年12月にはサイトをリニューアルし、視認性を高めるとともに検索方法等の改善を行い、また、掲載店は飲食店以外に飲食物に関わる通販を含む製造者、卸店、販売店にも拡大し、現在、掲載店は86店舗となった。

今後も、ワーキンググループ（リーダー：山口美代子副会長）の会合を定期的に開催し、サイトの利用者数や掲載店舗の増加を図るため、様々に取り組みを推進していく。

(4) 「支部活動支援パッケージ」の活用促進

【参考】令和5年4月1日付けで一部改正した概要

ア) 支部総会出席者のうち来賓等を除く支部会員数に1,000円を乗じた額を支給。

イ) 補助対象となる周年行事を5年単位とし、開催にあたり支部の予算を超える経費がかかる場合、その経費の一部について100,000円を上限に補助。

ウ) 支部の新設又は長期間活動を停止していた支部が活動を再開する場合、100,000円を上限に補助。

エ) 支部の新設又は再活動を近隣支部が支援協力する場合、50,000円を上限に補助。

①事務補助費の支給状況

令和6年度の事務補助費の支給と支部員参加人数の分布は以下の通り。

支部員の 参加者数	20名 以下	21名～ 40名まで	41名～ 60名まで	61名～ 80名まで	81名～ 100名まで	101名 以上	合計
対象支部数	64	21	5	1	1	1	93
支給金額 合計(円)	858,000	557,000	248,000	64,000	96,000	108,000	1,931,000

※事務補助費の支給対象とならない来賓等を除いた数字を記載。

②支部総会以外の支部会員全体を対象とする行事(例:研修会、親睦会、ゴルフ大会等)への事務補助費の支給

年1回に限り10,000円の事務補助費を支給できる。令和6年度は31支部に支給した。

③特別活動補助費の支給

支部設立を記念する事業(5周年単位の事業が対象)において、特別な行事(例:総会、講演会、映画会、落語会、音楽会、記念誌・パンフレットの発行・印刷、通信費等)を実施し、支部の予算を超える経費がかかる場合は、その経費の一部について原則として100,000円を上限に支援することができる。令和6年度は、4支部(江戸川支部創立40周年記念総会、岩手県支部連合会総会70周年記念式典、杉並支部設立50周年記念総会、中越支部黒門会創立10周年記念総会)に支給した。

④支部新設等活動補助費の支給

上記【参考】のウ)、エ)に記載のとおり、支部の新設又は既存支部が活動を再開(長期間活動を停止していた支部)する場合と、支部の新設又は再活動を近隣支部が支援協力する場合は、活動補助費を支給することができる。令和6年度は支給実績なし。

(5) 支部の結成促進

「専修大学校友会黒門倶楽部」の設立

この「黒門倶楽部」は、校友会で初めての全国的な支部組織として、校友会本部にプ

プロジェクトチームを設置し、検討と準備を重ね、令和6年7月6日に設立した。

なお、詳細は、6ページから7ページに記載した。

(6) 校友データの整備（ネット連絡網の整備を含む）

① 郵送による住所調査

年会費未納者を対象に現住所の調査を行った。

ア) 第1回目（4月）昭和56年～60年卒業（66歳～62歳）の年会費未納者8,999名に発送。

イ) 第2回目（7月）昭和60年～62年卒業（62歳～60歳）のうち、過去2年間発送対象外であった年会費未納者3,000名に発送。

ウ) 第3回目（2月）昭和60年～平成元年卒業（63歳～59歳）のうち、過去4年間発送対象外であった年会費未納者9,000名に発送。

② SMS（ショートメッセージサービス）配信による住所調査

スマートフォンの普及、かつ卒業年数の浅い校友は在学時に携帯電話の登録がなされていることから、SMS配信による住所調査を実施した。

配信内容は以下のとおりである。

ア) 第1回配信：4月29日

送達件数：4,607件

配信対象：令和6年3月卒業生

配信内容：住所調査及び定時総会ご案内他

ランディングページ開封数：691件（開封率15.2%）

イ) 第2回配信：12月14日・16日

送達件数：47,524件

送信対象：携帯電話番号判明者

配信内容：住所調査及び箱根駅伝出場募金ご案内他

ランディングページ開封数：7,134件（開封率17.8%）

③ 校友数と住所把握者数（令和7年3月31日現在）

大学	校友数	住所把握数(%)	永眠校友把握数
専修大学	301,837		
石巻専修大学	14,027		
専修大学北海道短期大学	12,199		
特別会員・推薦校友等	172		
賛助会員	33		
合計	328,268	204,464(64.5%)	11,322

備考. 「住所把握率」は、「住所把握数÷（校友数－永眠校友把握数）」で算出。

(7) 活動顕著な支部・個人の顕彰

①役員改選関係

令和6年6月23日付けで校友会役員の改選が行われたことに伴い、同日をもって任期満了により退任した役員（副会長、監査、執行部員）の慰労会が令和6年9月20日に開催された。

慰労会では、退任した役員の校友会へのこれまでの貢献を称え、感謝状と記念品が贈られた。対象者は以下のとおり。

・副会長退任者

大槻 弘孝 氏 (S38. 商経商)、星野 衛 氏 (S46. 商業)、酒巻 進 氏 (S47. 北農土)、大楽 和正 氏 (S49. 法律)

・監査退任者

小島 繁行 氏 (S45. 人文)

・執行部退任者

鷺見 憲一 氏 (S59. 商業)、田中 英樹 氏 (S60. 商業)、※根岸 功 氏 (S60. 商業)、春山 幸治 氏 (H3. 商業)

※令和6年7月3日に逝去されたため、葬儀日程にあわせて感謝状を贈った。

②台湾校友会関係

令和6年12月20日に台湾校友会の懇親会が7年ぶりに開催され、歴代の台湾校友会会長が出席した。

同会に出席した桃野会長から以下の方々に感謝状と記念品が贈られた。

第9代会長 喬 泰中 氏 (S60. 営修)、第10代会長 李 健華 氏 (S61. 営修)、第11代会長 盧 杰輝 氏 (S63. 商業)、第12代会長 陳 士奇 氏 (H8. 経営)

2. 本部活動体制の強化

(1) 校友会役員改選（任期満了に伴う役員改選）

令和6年6月の役員改選にあたり、役員選任規程に基づき令和6年3月28日開催の幹事会において「校友会役員推薦委員会」が設置された。同委員会は、3回の集中審議を行い、次期役員候補者を選出し、推薦した。6月22日開催の幹事会、6月23日開催の代議員会においてそれぞれ審議した結果、同委員会の原案どおり承認された。

主な改選結果は、第14代校友会会長である桃野 直樹氏が再任（二選）された。また、副会長は16名が再任され、4名が任期満了により退任した。退任者の後任として、英 伴氏 (S45. 北農土、専修大学北海道短期大学同窓会長)、工藤 章氏 (S51. 商業、渋谷支部長)、田尻 祐二氏 (S54. 法律、岡山支部長)、尾崎 孝好氏 (S63. 法律、埼玉西支部事務局長) が副会長に選任された。監査は、3名が再任され、1名が任期満了により退任した（1名は任期途中で辞任）。退任者の後任として、金子 正明氏 (S38. 商経商、校友会参与)、野尻 憲介氏 (S46. 商業、校友会代議員) が監査に選任された。

改選後の代議員数は、新任者105名を含め845名となり、その内、幹事数は、新任者29名を含め130名となった。

役員の任期は、代議員を除き令和6年6月23日から令和9年6月22日までの3年間。

（２）役員選任規程の一部改正

令和６年６月の役員改選にあたり、組織体制の充実強化策を具現化するため、「専修大学校友会役員選任規程」の一部改正が行われ、６月２３日開催の代議員会において承認され、即日施行された。

改正概要は、役員推薦委員会の委員構成のうち副会長からの選出数を１名から３名に増員し、また、役員候補者の欠格条項のうち「年会費を過去３年間のいずれかの年度において、納入していない者」の文言を削除したことである。なお、改正条文は即日施行され、今回の役員改選に適用された。

（３）親善大使による活性化推進

現在、親善大使として委嘱している①元プロ野球選手・芝池 博明氏（S44. 商業）、②りそな銀行元執行役員・横瀬 三亀夫氏（S50. 商業）、③大相撲阿武松部屋親方、元大道関・阿武松 健二氏（H17. 経営）、④プロボクシング第２９代ＷＢＣ世界バンタム級チャンピオン・山中 慎介氏（H17. 商業）の４名は、本部の要請により本部行事や支部総会等に参加し、講演や参加者との交流などにより、校友会活動を盛り上げている。

（４）「専修大学校友会黒門倶楽部」の設立（新設）

「黒門倶楽部」は、校友会全体の一層の活性化と大学への更なる支援協力を目指すことを目的に、主に全国各地で社会の牽引役として活躍している経営者や政治家、スポーツ選手、芸能人、国家資格保有者、公務員、その他文化人等の校友を対象に、全国的な組織を設立するため、校友会本部に令和５年５月にプロジェクトチーム（委員長：横瀬 三亀夫氏・親善大使）を設置し、検討を開始した。

１年を超える検討期間を経て、同プロジェクトチームから提出された支部新設申請書に基づき、令和６年６月２２日開催の会長・副会長会において検討した結果、「専修大学校友会黒門倶楽部」として、校友会の支部区分に新たに「特別支部」の区分を設けて設立することが承認され、同年７月６日に設立発起人により、設立総会が開催され設立された。

なお、設立総会では、設立時の発起人により、「黒門倶楽部」の代表・副代表・顧問が次の通り選出された（役職・職名は、設立時のものを記載）。

【代 表】	今野 邦廣氏（S38. 商経経）	株式会社レスター代表取締役会長兼社長
【副代表】	金子 正明氏（S38. 商経商）	メキシコシティ五輪レスリング金メダリスト
同	芝池 博明氏（S44. 商業）	元プロ野球選手、校友会親善大使
同	工藤 章氏（S51. 商業）	モントリオール五輪レスリング銅メダリスト
同	永島 敏行氏（S54. 人文）	俳優
同	浜田 靖一氏（S55. 経営）	衆議院議員
同	稲津 久氏（S57. 商業）	衆議院議員
同	北川 大介氏（H2. 商業）	演歌歌手
同	やまもと きょうこ氏（H3. 商業）	ラテンジャズヴォーカリスト
同	長谷部 健氏（H8. 会計）	渋谷区長
同	山中 慎介氏（H17. 商業）	ボクシング第２９代ＷＢＣ世界バンタム級チャンピオン、校友会親善大使

【顧問】	桃野 直樹氏 (S42. 法律)	校友会長
同	日高 義博氏 (S45. 法律)	学校法人専修大学総長
同	松木 健一氏 (S48. 法律)	学校法人専修大学理事長
同	尾池 守氏 (S52. 他大学卒)	石巻専修大学長
同	佐々木 重人氏 (S53. 会計)	専修大学長
同	鈴木 雅美氏 (S55. 法律)	学校法人専修大学常務理事

また、本格稼働への準備期間を経て、令和 7 年 3 月には、「黒門倶楽部推進検討会」（推進体制が確立するまでの間、合議制で当該事業を推進するプロジェクトチーム）から入会案内や申込書等が発送され、具体的な会員募集活動が開始された。

3. 準会員（在学生）への周知等

（1）校友会の積極的 P R

①校友会誌『鳳翼』を発行毎に生田・神田校舎の専用ラックに同誌を設置し、校友会の活動をはじめ校友の活躍等を紹介し、同会の活動実態について P R に努めた。

②専修大学専用学生寮に校友会誌『鳳翼』を設置

専修大学専用学生寮（白山・生田）のそれぞれの食堂に校友会誌『鳳翼』を設置し、校友会の P R に努めた。

（2）ワイン大学の実施

令和 5 年度に 4 年ぶりに開催して好評を得たため、令和 6 年度は募集人数を 20 名増やして開催した。学生の反応が大変良く、告知 3 日目でキャンセル待ちとなった。

開催概要は以下のとおり。

①開催日時：令和 6 年 11 月 22 日（金）18 時 30 分～

②開催場所：神田校舎 10 号館 16 階「相馬永胤記念ホール」

③参加人数：120 名

④対 象：準会員（専修大学の学生）、教職員、校友、育友、賛助会員

⑤講 師：江畑 進一氏 全日本ソムリエ連盟認定ソムリエ

⑥テ ー マ：「ワインと環境」

（3）卒業生への校友会周知方策（卒業祝賀を兼ねる）

専修大学は、令和 5 年度から卒業式終了後に、神田校舎において学位記交付を行うこととしたため、従来、校友会で主催していた新校友歓迎祝賀会の開催場所の確保が困難になったことから、祝賀会を行わないこととし、令和 6 年度も同様となった。

このため、校友会では、平成 25 年度から専修大学、石巻専修大学の学部卒業生及び大学院修了生に対して卒業時に配布していた「校友会バッジ」に加えて印刷物を準備し、校友会の周知と併せて新校友へ祝賀の意を表した。

1. 令和6年度年会費納入者分布図



- 8 -

2. 年会費納入会員の拡大

(1) 校友会員を対象にした、年会費の納入依頼発送状況

発送件数、納入者数、納入率及び発送対象等の詳細は、以下のとおり。

発送月	発送数	納入者数	納入率
4 月	8,999	153	1.70%
6 月	1,600	509	31.81%
7 月	3,000	34	1.13%
10 月	882	222	25.17%
11 月	9,750	227	2.33%
1 月	7,866	3,562	45.28%
2 月	9,000	39	0.43%
合計	41,097	4,746	11.55%

発送月	趣旨	発送対象
4 月	住所調査	昭和 56 年～60 年卒業（66 歳～62 歳）の年会費未納者 (8,999 名)
6 月	年会費のご案内	・前年度年会費納入者で今年度未納者 ・代議員、支部関係者、教職員退職者、祝電送付者、及び 専 SHOKU NET 登録者で年会費未納者 (計 1,600 名)
7 月	住所調査	昭和 60 年～62 年卒業（62 歳～60 歳）のうち、過去 2 年間発送対象外であった年会費未納者 (3,000 名)
10 月	年会費のご案内	・年会費未納代議員 ・支部長及び支部事務局の年会費未納者 ・前年度年会費納入者で今年度未納者 (計 882 名)
11 月	支援募金のお願い	・令和 6 年 3 月予納金終了の平成 30 年 9 月及び平成 31 年 3 月卒業生 ・昭和 36 年～45 年卒業（86 歳～77 歳）の年会費未納者 (計 9,750 名)
1 月	年会費のお願い	・本年度納入者で継続次年度年会費請求対象者 ・令和 7 年 3 月予納金終了の令和元年 9 月及び令和 2 年 3 月卒業生 (計 7,866 名)
2 月	住所調査 年会費・募金のお願い	昭和 60 年～平成元年卒業（62 歳～58 歳）のうち、過去 4 年間年会費未納者で、今年度未送付者 (9,000 名)

(2) 年会費未納「代議員」への督促について

校友会会則第14条第2項に「代議員は、自ら辞任を申し出るまではその地位に就く。ただし、年会費を納入しなかった者は、辞任したものとみなす」と規定されていることから、令和6年度の年会費を納めていない代議員に対し以下の通り催促をした。

督促発送日	締切り日	督促対象数	入金数	納入率
令和7年2月13日	令和7年3月18日	20名	2名	10.0%

※令和6年度年会費未納である代議員に対しては、校友会会則に基づき令和7年4月1日付けで退任の通知を発送する。

(3) 住所変更の連絡に伴う年会費納入案内の送付

校友会HPの住所等変更フォームより届出が156件あった。そのうち、年会費未納の校友に、年会費納入振込用紙付校友会誌『鳳翼』と『校友会のご案内』を送付した。

(4) 専修大学カード入会者年会費自動引き落とし

専修大学カード入会者(501名)は、カードにより「令和6年度年会費」を決済した。

(5) 卒業5年目校友への翌年度年会費の継続納入の要請

平成28年度の卒業生から、予納金として5年分の校友会年会費相当分を徴収する制度の運用が開始された。これに伴い、卒業して6年目以降は自主的に年会費の納入が必要となるため、予納金期間終了後の年会費継続納入依頼を次のとおり行った。

- ①令和6年3月予納金終了者(平成30年9月及び平成31年3月卒業)で、住所判明者2,750名に対し、令和6年11月に納入依頼文書を送付した。
- ②対象者のうち、専修大学VISAカード会員については、令和7年度から年会費自動引き落としを開始するお知らせを令和6年11月に49名へ送付し、意向確認を行った。さらに、12月には連絡がなかった25名に対して再度お知らせを送付した。
- ③令和7年3月予納金終了予定者(令和元年9月及び令和2年3月卒業)で、住所判明者2,971名に対し、令和7年1月に納入依頼文書を送付した。

(6) 支部・役員等の協力及び各種行事に合わせた会費納入会員の拡大

①本部役員による依頼

今年度開催された支部総会等において、出席した本部役員から、年会費の積極的な納入を支部会員へ依頼した。

②資料配布による依頼

令和6年4月から令和7年3月末までに開催された支部総会等において、校友会本部からの配布資料とともに、年会費納入の依頼文を通算2,903枚配布し、納入の促進を図った。

③各種行事開催における年会費納入依頼

代議員会、定時総会、執行部会や幹事会において年会費納入窓口を設け、未納者に納入を促した。

(7) 年会費納入先銀行口座の電子化による利便性の向上

年会費納入先の一つである三井住友銀行口座を令和6年1月下旬から電子扱いも可能としたことから、納入者及び事務局相互の利便性の向上に繋がっている。

(8) 年会費納入者数が増加傾向に転向

年会費納入者数は、近年、長期に渡って毎年度減少し続けていたが、数年前から年会費納入者の増加対策を前述の(1)から(7)の内容を中心に、更に強化して推進してきた結果、過去4年間の既卒者(予納金納入者は除く)の年会費納入者数が約1,300名増加し、増加傾向に転じている。

令和7年度もこの増加傾向を維持することを目標に、増加対策を継続推進していく。

3. 「専修大学カード」入会促進

(1) 会員数及び協力店数

校友の福利、校友会年会費納入の利便性と会の財政基盤強化及び校友名簿の精度向上を図ることを目的として、平成7年12月より「専修大学カード」(三井住友カード)を発行している。今年度もカード加入の促進を図るため、校友会会員及び学生会員を募った。

今年度の会員数及び協力店数は、以下のとおり。

①会員数：1,028名

(令和7年3月31日現在、カード会社確認：校友会会員数〔法人役員・教職員、家族カード会員含む〕798名、学生会員数230名)

②協力店数：156店

(2) 「専修大学カード」、「専修大学学生カード」の会員募集を実施

①校友会誌『鳳翼』、校友会ホームページ等において随時、申し込みの呼びかけを行い、積極的に入会をアピールした。

②カード会社による入会申請専用紙の廃止に伴い、ウェブサイト入会の周知を図るため、対象別にリーフレットを作成し、在学生には留学オリエンテーション等で配布し、校友には代議員会や定時総会の出席者へ配布した。

また、入学生向けには大学オフィシャルサイトの「入学予定の皆様へ」ページにて、カードの紹介や入会専用サイトを掲載した。

オンライン入会ご案内の配布数と、新規加入会員数は以下のとおり。

	校友	学生	合計
配布数：	320通	130通	450通
新規会員数：	3名	28名	31名
手数料収入：	461,346円		

手数料収入は、カード会社から、会員募集手数料と提携手数料が校友会に還元され、予算として執行する。

Ⅲ. 母校発展への寄与

1. 学修環境整備に係る大学・学生への支援協力

令和5年5月以降、大学の教育研究活動がコロナ禍前の状態に戻ったことから、教育活動や学生生活の充実に向けた環境をさらに整備し、充実した学生生活を送ることができるよう専修大学への500万円の支援を行った。

なお、当該支援金は、学修環境整備のための諸経費のほか、学生が利用する教育教材、各種ソフトウェアの購入費、施設改修費施設充実のための改修費の一部に充当された。

2. 大学の「社会知性の開発」推進募金への支援協力（大学各種募金への協賛キャンペーンの展開）

学校法人専修大学が展開する募金事業への協賛活動として、下表のとおり年会費納入者及びターゲットを絞り、依頼状等を定例発送物あるいは各種案内に同封して発送した。

対象	月	発送趣旨	発送対象	件数	募金活動の封入	同封物
納入者	7月	募金のお願い	年会費納入者 (予納金、募金局発送者除く)	4,639	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	ゴルフ大会ご案内 ニュース専修 鳳翼
	11月	定例・募金発送	年会費納入者 (予納金除く)	5,518	① 陸上競技部「第101回東京箱根間往復大学駅伝競走出場」及び野球部・ラグビー部へのご支援のお願い/箱根駅伝応援募金リーフレット ② 寄付申込書	ニュース専修
未納者	4月	住所調査	昭和56年～60年卒業 (66歳～62歳)の年会費未納者	8,999	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	送付状 年会費振込用紙 鳳翼
	7月	住所調査	昭和60年～62年卒業 (62歳～60歳)のうち、過去2年間発送対象外であった年会費未納者	3,000	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	送付状 年会費振込用紙 鳳翼
	11月	募金のお願い	令和6年3月予納金が終了した平成30年9月及び平成31年3月卒業	2,750	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書 ③ 箱根駅伝応援募金リーフレット	年会費振込用紙
			年会費未納者 昭和36年～45年卒業 (86歳～77歳)	7,000		年会費振込用紙 校友会のご案内 鳳翼
			未納代議員・未納支部関係者	152		—
	2月	住所調査 年会費・募金のお願い	昭和60年～平成元年卒業 (62歳～58歳)のうち、過去4年間年会費未納者で今年度未送付者	9,000	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	送付状 年会費振込用紙 鳳翼 (うち、7,500件は校友会のご案内を同封)
合 計				41,058		

3. 大学との協力・連携

育友会と共催で、大学常勤役員との懇談会を令和6年8月7日に開催した。これは、校友会及び育友会の役員等が、母校発展に一層の理解を深め貢献できるよう大学・校友会・育友会の三者による協力・連携の強化を図ることを目的として実施した。

4. 奨学生基金による支援

当初予算の計画通り、「奨学生基金」から学校法人専修大学が行う「経済支援奨学生募金」に対して、500万円の寄付を行った。

さらに、同基金による奨学生の採用状況及び給付金額は下表のとおりとなった。

校友会奨学生	専修大学		石巻専修大学	
	採用人数	金額	採用人数	金額
経済支援奨学生 200,000円（給付）	0	0	3	600,000
災害見舞奨学生 100,000円（給付）	4	400,000	0	0
合 計	4	400,000	3	600,000

5. 大学及び学生諸団体の行事・課外活動等への支援の充実

(1) 学生諸団体の行事・課外活動等への助成

学生諸団体等による課外活動の躍進によって、母校の知名度の向上が図れるよう助成を行った。

助成件数	80
助成総額（円）	22,134,740

(2) 「学生への食料支援プロジェクト」の支援

学生部主催の「学生への食料支援プロジェクト」実施にあたり、200万円の支援金を寄贈した。

今年度はSDGsの視点を加えた取り組みとして、従来の食料品・日用品等を配布する「食料支援プロジェクト」に加え、「応援ランチ」、「ウォーターサーバー導入」、「生理用品の提供」を追加した全4弾のプロジェクトが行われた。

3月31日までの実施状況は以下の通り。

①第1弾 食料支援プロジェクト

第1回：7月12日実施、1,000名分（神田・生田合計）

第2回：12月13日、1,102名分（神田・生田合計）

（令和3年度からこれまでに通算12回、延べ11,445人に支援）

②第2弾 応援ランチ

650円相当のメニューに350円の助成をし、学生に300円で提供。

前期：5月・6月実施、計3,800食

後期：10月・11月実施、計3,800食

③第3弾 ウォーターサーバー導入

マイボトル持参を促進し、プラスチックごみ削減に貢献する目的で、6月から生田・神田キャンパスに設置。

利用実績：現在計6台稼働、1台あたり約300～500回／日の利用

④第4弾 生理用品の提供

9月からキャンパス内の一部のトイレに生理用品のディスペンサーを設置して無償提供。

設置数：生田・神田キャンパス計8カ所

利用実績：1カ所あたり180枚／月の利用

(3) 石巻専修大学から専修大学経営学部への国内留学生の支援

平成29年4月に締結した「専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との学生交流事業に関する協定書」に基づき、令和6年度の石巻専修大学経営学部から専修大学経営学部への国内留学生が3名となることが決定した。校友会は、国内留学生全員に対する支援（一人あたり200,000円）を行った。

6. 野球・ラグビー・陸上等への特別支援

(1) 野球・ラグビー・陸上への特別支援

「大学スポーツの華」として、全国の校友が最も活躍を期待している専修大学体育会「野球部」、「ラグビー部」、「陸上競技部」、石巻専修大学の「硬式野球部」及び「女子競走部」に対して、優秀な選手の獲得を目的として、特別支援助成金（合計600万円）を支給した。

(2) 体育会監督激励会の開催

全国の校友が最も活躍を期待している専修大学体育会「野球部」、「ラグビー部」、「陸上競技部」の監督、コーチ、OB会長等を招いて、今後の支援の在り方や要望等について忌憚のない意見を聞き、それに基づいた支援や協力の可能性を検討することを目的として激励会を開催している。

令和6年度は、陸上競技部が箱根駅伝の予選会を第2位で通過し、ラグビー部が一部・二部入替戦への出場権を獲得したことから、令和6年12月3日に両部を激励する会を開催した。なお、同会では565,000円の寄付金が集まり、大学を通じて後日、両部へ配分された。

7. 「スポーツ・文化振興基金」による支援

大学支援事業の一つとして、大学のスポーツ・文化活動において、優れた成績を残した団体及び個人に対し、当該活動の更なる振興を図ることにより、大学の名声を一層高めるとともに、校友会の発展にも寄与することを目的として基金を設置している。

今年度の激励金の支給状況は以下のとおりである。

(1) 専修大学

【スポーツ部門】支給総額：820,000 円

- ①最優秀団体賞 2 団体 (各 150,000 円、合計 300,000 円)
- ②最優秀選手賞 5 名 (各 50,000 円、合計 250,000 円)
- ③最優秀新人賞 1 名 (30,000 円)
- ④校友会長推薦・個人 12 名 (各 20,000 円、合計 240,000 円)

【文化部門】支給総額：840,000 円

- ①司法試験合格者 7 名 (各 30,000 円、合計 210,000 円)

※法科大学院修了直近の合格者を支給の対象者とする。ただし、試験制度の変更に伴い在学中合格者も対象とした。

- ②公認会計士試験合格者 4 名 (各 30,000 円、合計 120,000 円)

※在学中合格者を支給の対象者とする。

- ③国家公務員採用総合職試験合格者 17 名 (各 30,000 円、合計 510,000 円)

※在学中合格者を支給の対象者とする。

(2) 石巻専修大学

【スポーツ部門】支給総額：130,000 円

- ①石巻専修大学長推薦 団体 1 団体 (100,000 円)
- ②石巻専修大学長推薦 個人 1 名 (30,000 円)

【文化部門】支給総額：80,000 円

- ①石巻専修大学長推薦 団体 1 団体 (50,000 円)
- ②石巻専修大学長推薦 個人 1 名 (30,000 円)

8. 大学主催の講演会・公開講座等への協力支援

専修大学及び専修大学熊本玉名高等学校が主催する『社会知性フォーラム』(令和 6 年 12 月 7 日 玉名市民会館(玉名市)にて開催)の実施にあたり、校友会熊本県支部が後援を行った。

9. 無料法律相談会の後援

法曹会主催(今村法律研究室・校友会後援)の無料法律相談会は、令和 6 年度も毎月 1 ～ 2 回(8 月を除く)神田校舎において実施された。

3 月 31 日までに計 12 回実施され、相談件数は、延べ 20 件であった。

IV. 総会・会議等の開催

1. 代議員会

- (1) 開催日時：令和 6 年 6 月 23 日(日) 11 時 00 分～12 時 40 分
- (2) 開催場所：神田校舎本館(1～3 号館) 3 階 303 教室
- (3) 出席者数：576 名(出席者 131 名、委任状提出者 445 名)

- (4) 議 案：①令和5年度事業報告・収支決算・監査報告について
②令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)について
③「校友会役員選任規程」の一部改正について
④校友会役員等の改選について
⑤その他
以上、各議案を承認

2. 定時総会

- (1) 開催日時：令和6年7月6日(土) 12時30分～14時15分
(2) 開催場所：京王プラザホテル新宿 南館5階「エミネンスホール」
(3) 出席者数：300名
(4) 式次第：
第一部(総会)
物故者への黙祷、校友会長挨拶、来賓祝辞、黒門倶楽部設立報告、諸報告
第二部(懇親会)
特別支援金贈呈、国内留学生紹介、全學應援團リーダー公開、校歌斉唱
懇親会に出席した各界で活躍する著名人(以下参照)から挨拶をいただいた。
・ボナ 植木氏(S50. 人文) マジシャン、ナポレオンズ
・永島 敏行氏(S54. 人文) 俳優
・中尾 孝義氏(S54. 商業) 元プロ野球選手
・桂 小文治氏(S55. 商業) 落語家
・黒岩 彰氏(S59. 商業) カルガリー五輪スピードスケート銅メダリスト
・北川 大介氏(H2. 商業) 演歌歌手
・木村 勝千代氏(H2. 国文) 浪曲師
・やまもと きょうこ氏(H3. 商業) ラテンジャズボーカリスト
・宮田 悟志氏(H20. 人文) ヴォーカリスト
・高橋 昂平氏(H31. 経営) ラグビーリーグワン 東芝ブレイブ・ループス東京
なお、今野 邦廣氏(S38. 商経経、株式会社レスター代表取締役会長兼社長)は、
第1部(総会)の「黒門倶楽部設立報告」において挨拶された。

3. 全国支部長会

- (1) 開催日時：令和6年7月6日(土) 11時00分～11時45分
(2) 開催場所：京王プラザホテル新宿 南館4階「錦」
(3) 出席者数：71名
(4) 議 題 等：①校友会支部の現況等について
②校友会役員の改選について
③「専修大学校友会役員選任規程」の一部改正について
④「専 SHOKU NET」について
⑤「専修大学校友会黒門倶楽部」の設立について
⑥その他
以上、各議案を承認

4. 会長・副会長会、執行部会、幹事会等

- (1) 会長・副会長会：9回開催
- (2) 幹事会：1回開催
- (3) 執行部会：4回開催
- (4) 執行部会分科会：1回開催
- (5) 執行部「各部会」：必要により適宜開催
- (6) 奨学生選考委員会：4回開催

5. 役員推薦委員会

令和6年3月28日開催の幹事会において、校友会役員改選に伴う「校友会役員推薦委員会」の設置及び同委員会委員の選任が審議され、承認された。

第1回委員会において、委員の互選により委員長に水崎保男副会長（S44. 法律）、副委員長に伊藤隆文顧問（S39. 経商）が選出された。委員会は合計3回開催され、次期役員候補者を選出した。

6. 顧問・相談役・参与懇談会

日頃より校友会の運営について多大なる支援と協力をいただいている顧問、相談役、参与が出席し、校友会及び大学の更なる発展に資するご意見を伺うことを目的に開催した。

令和7年1月24日（金）に神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」にて開催し、59名が参加した。

7. 三大学校友会同窓会連絡会

専修大学校友会、石巻専修大学同窓会、専修大学北海道短期大学同窓会の会長、副会長等による現状の理解と課題解決や相互の連携を図ることを目的に、年1回開催している。

令和6年度は開催せず、次年度以降に開催する。

V. 会員の親睦・福祉の増進

1. 「第39回専修大学校友会グリーンカップ・ゴルフ大会」

- (1) 開催日：令和6年10月4日（金）
- (2) 開催場所：平川カントリークラブ（千葉市緑区）
- (3) 参加人数：50名

2. 「ホームカミングデー2024」

専修大学は、「専修大学ホームカミングデー」を毎年開催から周年事業化（原則5年毎）することを決定し、今年度は開催しないことを決定した。

次回は、専修大学創立145周年にあたる2025年度の秋に開催が予定されている。

3. 新校友歓迎祝賀会

専修大学は、防災上の理由により令和5年度から日本武道館内で卒業生への学位記交付が出来なくなったため、神田校舎において学位記交付を行うこととなった。

このため、神田校舎へ全卒業生が出入りすることにより、祝賀会を開催する場所の確保が困難であることに加え、安全面にも配慮して祝賀会は行わないこととした。

令和6年度も学位記交付の運営が前年度同様となったため、祝賀会は行っていない。

なお、校友会から祝賀の意を表するため、「校友会バッジ」と「校友会支部一覧」を卒業生に配布した。

4. 電報サービス（祝電・弔電）

(1) 校友である叙勲・褒章受章者、社長就任及び公職選挙の当選者、また、様々な活躍をする校友への激励等に祝電（28件）を送った。

(2) 弔電（19件）を送った。

VI. 広報活動の推進

1. 校友会誌『鳳翼』の発行・送付

校友会総合情報誌『鳳翼』を、令和7年3月31日までに4回（4月、7月、10月、1月）発行し、校友会をはじめ、大学の近況を伝えるとともに会員相互の交流を図ることに努めた。

2. 校友会ホームページの充実

校友会ホームページの速報性と充実に努めた。特に、イベントの告知、校友会本部・支部における行事等の報告については、随時更新した。なお、校友会ホームページのトップ画面から「専 SHOKU NET」のサイトにリンクを貼り、閲覧しやすいよう対応した。

また、校友会関係規程をホームページに掲載し、会員の利便性を高めた。

3. 大学発行新聞『ニュース専修』に校友関連記事掲載、送付

校友会年会費納入者に対して、大学の現況及び校友会活動の近況等を掲載した大学広報紙『ニュース専修』を3月31日までに11回（8・9月は合併号）送付した。発送には郵便料金減額制度、ゆうメール便等を使って発送料の節約に努めた。

また、支部活動時には、『ニュース専修』をはじめ『鳳翼』、「校友会のご案内」、「年会費払込用紙」等を配布することによって、校友会活動の告知・報告や母校の動向についての情報提供を積極的に行うとともに、年会費納入促進にも努めた。

VII. 育友会との協力・連携

1. 賛助会員への積極的勧誘

(1) 校友会では、令和6年4月号『鳳翼』に、校友会賛助会員のご案内を掲載した。

また、育友会においても、育友会支部懇談会の開催時の資料として「専修大学校友会賛助会員制度のご案内」を4,670部作成し、配布を依頼した。

(2) 「賛助会員」の年会費納入状況（新規申込件数）

令和7年3月31日現在：納入数33件（うち、新規申込者数2件）

2. 校友会・育友会連携事業推進委員会の開催

(1) 日時：令和6年3月6日 18時00分～18時30分

場所：育友会長室

議題：①「留学生を囲む会」の開催について

②常勤役員との懇談会の開催について

③その他

以上、令和6年度に実施する各事業の実施概要を承認した。

(2) 日時：令和7年3月5日 書面決裁

議題：①「留学生を囲む会」の開催について

②常勤役員との懇談会の開催について

③その他

以上、令和7年度に実施する各事業の実施概要を承認した。

3. 共催事業「留学生を囲む会」の実施

令和6年度から従来の開催方式を改め、国際交流事務課による「新入留学生歓迎プログラム」の一環として、「留学生を囲む会」を歓迎昼食会として実施した。

(1) 開催日時：令和6年4月13日（土）12時30分～14時15分

(2) 開催場所：神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」

(3) 参加者数：112名

（新入留学生37名、在学生38名、国際交流センター委員12名、国際交流事務課10名、校友会8名、育友会7名）

4. 支部相互の協力・連携の推進

毎年夏に行われる育友会の支部懇談会の開催に先立ち、育友会事務局から校友会の地域支部の支部長に対し、育友会支部懇談会の開催予定が分かる資料が送付された。

今夏においても育友会支部からの要請に基づき、校友会支部役員が懇談会に出席した支部がいくつかあり、また、校友会支部総会にも育友会支部役員が出席した支部があるなど、両会の支部相互の協力・連携が図られている。

VIII. その他

1. 「20 大学校友業務懇談会」の開催

校友業務全般に係る事項の意見・情報交換の場であり、主に大学で卒業生にかかわる事務を担当している職員を中心に運営している。

(1) 開催日時：令和6年11月28日（木）

(2) 開催方法：対面

(3) 主催大学：法政大学

2. 激励金・激励品等の授与

7月26日から8月11日の期間で、第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）が開催され、専修大学の在学生2名が代表選手に選ばれたため、校友会は、オリンピックでの活躍を期待し、激励金を授与した。

- (1) 原田 周大 法学部法律学科4年次

※ボクシング男子57kg級に出場し、5位入賞

- (2) 甲斐 優斗 経営学部経営学科3年次

※バレーボール男子代表として予選リーグを突破し、ベスト8進出（入賞）に貢献

令和6年度 校友会本部活動報告

《本部活動報告》

R6	4/	9	黒門倶楽部打合せ
		13	留学生を囲む会
		16	黒門倶楽部プロジェクト委員会
		18	第1回役員推薦委員会
		19	会長・副会長会
		19	執行部会
		22	奨学生選考委員会
		23	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	5/	9	令和5年度校友会監査
		16	第2回役員推薦委員会
	6/	6	第3回役員推薦委員会
		22	会長・副会長会
		22	幹事会
		23	会長・副会長会
		23	代議員会、代議員懇談会
		27	奨学生選考委員会
		26	奨学生選考委員会
	7/	6	会長・副会長会
		6	全国支部長会
		6	黒門倶楽部設立総会
		6	定時総会 2024
		17	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	8/	7	会長・副会長会
		7	常勤役員との懇談会
		27	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	9/	20	会長・副会長会
		20	執行部会/執行部分科会
		20	退任役員ご慰労の会
	10/	4	第39回校友会グリーンカップ・ゴルフ大会（執行部：体育振興部会）
		10	専 SHOKU NET ワーキンググループ
		22	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	11/	14	会長・副会長会
		14	執行部会
		15	専 SHOKU NET ワーキンググループ
		22	第16回校友会ワイン大学
		28	20 大学校友業務懇談会
		29	校友会中間監査

R7	1/	24	会長・副会長会
		24	顧問・相談役・参与懇談会
	3/	13	会長・副会長会
		13	執行部会

備考：各執行部会の活動は必要により適宜実施されており、掲載は省略する。

令和6年度 校友会支部活動報告

《支部活動報告》

R6	4/	13	村上・岩船支部 総会
		19	西松建設専大会 総会
		10	江戸川支部 初夏の会
	5/	12	千葉県支部連合会 役員会
		16	不動産建設黒門会 総会
		19	三重県支部 総会
		19	岐阜校友会 総会
		19	東海三県(愛知・岐阜・三重)合同校友会 講演会
		24	佐藤工業専大会 総会
		25	川崎支部 総会 懇親会
		25	水戸支部 総会
		25	宇摩鳳会 総会
		26	兵庫支部 総会
	6/	1	北海道連合校友会 支部長会議
		1	札幌支部 総会
		2	札幌支部 親睦ゴルフコンペ
		6	北九州支部 総会 懇親会
		7	十和田支部 総会
		8	筑波銀行鳳会 総会
		8	秋田支部 総会
		9	社労士黒門会 総会 講演会
		15	足立支部 総会
		15	厚木黒門会 総会
		15	会津支部 総会
		22	南空知・美唄支部 総会
		28	写真部 OB・OG 会 総会
		29	相模原支部 報告会 懇親会
		29	防府支部 総会
		30	オホーツク支部 総会
	7/	1	ホテル専修会 総会
		6	35(珊瑚)会 総会
		6	西湘支部 総会
		13	青森支部 定時総会
		19	石川県支部 総会
		20	千葉県支部連合会 講演会 総会
		20	熊本県支部 総会
		25	新宿支部 総会

7/	26	会計人会 総会
	26	旭川支部 総会
	27	函館支部 総会
	28	二鳳会 納涼会
8/	17	墨田支部 暑気払い
9/	1	野田鳳会 総会
7～8		兵庫支部 役員研修会
	7	鹿児島県支部 総会
	8	宮崎県支部 総会
	14	中越支部黒門会 日帰りバス旅行兼交流会
	21	埼玉校友会 総会
	28	川崎支部 名月を愛でる会
	28	江戸川支部 創立 40 周年記念総会
	28	町田支部 総会
	28	韓国同門会 総会
	28	東北支部連合会 総会
	28	青森県連合 総会
	28	八戸支部 総会
	28	板橋支部 板橋史跡探索 懇親会
	29	大阪府支部 総会
10/	4	いわき黒門会 校友を訪ねる旅
	5	山形支部 総会
	5	新潟県支部 総会
	6	相模原支部 町田支部共催 境川クリーンアップ作戦
	7	北支部 総会
	12	広島支部 総会
	12	大分県支部 総会
	12	葛飾支部 総会
	12	苫小牧支部 支部設立 50 周年記念総会 祝賀会
	18	専修大学学内支部 総会
	19	岩手県支部連合会 総会 記念式典
	19	北上支部 総会
	19	阿賀北支部 総会
	19	愛媛鳳連合会 総会
	19	今治鳳会 総会
	19	緑鳳学会 総会
	24	流通研究会 総会
	25	杉並支部 設立 50 周年総会
	26	城南支部 総会
	27	静岡県支部連合会 総会

11/	1	東信支部 総会
	3	今治鳳会支部 ソフトボール大会
	9	中越支部黒門会 創立 10 周年記念総会
	9	仙台支部 総会
	9	墨田支部 江東支部 合同総会
	9	兵庫支部 役員忘年会
	9	旭川支部 観楓会
	10	鳥取県西部支部主催 OB・OG 交流会
	16	佐賀鳳会 総会
	16	山梨県支部 ゴルフコンペ
	18	渋谷支部 総会
	19	沖縄県支部 定時総会
	22	福岡支部 総会
	23	上越支部 総会
	23	山梨県支部 総会
	23	奈良県支部 総会
	28	法曹会 総会 合格祝賀会
	30	津軽支部 総会
12/	5	37 会 総会
	6	いわき黒門会 総会
	14	大館支部 総会
	19	不動産建設黒門会 忘年会
	21	佐倉・四街道支部 忘年会
	26	神奈川県連合会 総会
R7 1/	11	仙台支部 幹事会 新年会
	19	沼津支部（専沼会） 総会
	19	兵庫支部 日帰りバスカニツアー
	24	二鳳会 総会 新年会
	25	西湘支部 新年会
	25	筑豊支部 新年会 幹事会
	25	埼玉西支部 新年会
2/	1	葛飾支部 新年会
	5	東京都庁修交会 総会 新年会
	8	旭川支部 新年会
	8	野田鳳会 新春落語口演会
	8	三重県支部 新年会
	9	フェニックスグリークラブ支部 総会
	11	富山県支部連合会 新年懇親会
	15	石巻支部 石巻専修大学学内支部 合同総会
	15	川崎支部 新春賀詞交歓会

2/	15	江東支部 新年会
	22	社労士黒門会 講演会 新年会
3/	1	フェニックスグリークラブ支部
		お地蔵さんとのふれあいコンサート
	2	紀北支部 定期総会
	8	九州・沖縄連合会 総会
	8	愛知県支部 総会
	14	桐生専大会 総会
	15	神長ゼミナール支部 神長百合子先生を偲ぶ会
	15	板橋支部 総会
	22	石川県支部 ゴルフコンペ
	30	葛飾支部 桜を愛でる会
	30	城東・城北連合支部 桜を愛でる会

備考：上記は、各支部から開催報告が提出されたものを記載した。

以 上

〔別 紙〕

令和 6 年度 事業報告

執行部会名 総務企画部

部 長 名 秋 田 勉

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
(令和 6 年)			
4 月 10 日 (水)	事務局	3 人	令和 5 年度事業報告等の打ち合わせ
4 月 17 日 (水)	事務局	3 人	執行部会の進行・業務打ち合わせ
4 月 19 日 (金)	神田校舎	2 人	執行部会の進行等
5 月 9 日 (木)	事務局	2 人	校友会監査打ち合わせ 及び監査
6 月 20 日 (木)	事務局	4 人	幹事会及び代議員会の進行打ち合わせ
6 月 22 日 (土)	神田校舎	5 人	幹事会の進行等
6 月 23 日 (日)	神田校舎	5 人	代議員会の進行等
7 月 2 日 (火)	事務局	3 人	定時総会・全国支部長会の進行打ち合せ
7 月 6 日 (土)	京王プラザ H	5 人	定時総会統括・担当業務従事
9 月 18 日 (水)	事務局	3 人	執行部会・分科会の進行・業務打ち合わせ
9 月 20 日 (金)	神田校舎	2 人	執行部会・役員退任慰労会の進行等
11 月 6 日 (水)	事務局	4 人	執行部会の進行・業務打ち合わせ
11 月 14 日 (木)	神田校舎	3 人	執行部会の進行等
11 月 29 日 (金)	事務局	2 人	校友会中間監査打ち合わせ及び中間監査
(令和 7 年)			
1 月 24 日 (金)	神田校舎	2 人	顧問・相談役・参与懇談会進行等
3 月 10 日 (月)	事務局	2 人	新年度事業・予算検討 (財務部・事務局合同)
3 月 13 日 (木)	神田校舎	2 人	執行部会の進行等
			以上

[別 紙]

令和6年度 事業報告

執行部会名 財務部

部 長 名 市原 浩一

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
令和6年 4月			令和5年度決算書類作成メールにて打合せ
5月9日	6号館5階	13名	令和5年度決算監査会
11月			令和6年度中間決算書類作成メールにて打合せ
11月29日	6号館5階	13名	令和6年度中間決算監査会
令和7年 3月10日	校友会応接室	5名	令和7年度予算案検討打合せ

[別 紙]

令和 6 年度 事業報告

執行部会名 _____ 事業部 _____

部 長 名 _____ 林 敏 _____

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
①R6. 4. 11(土)	専修大学神田 校舎 10 号館	1 名	留学生を囲む会の開催及び当日運営
②R6. 7. 6(土)	京王プラザホ テル新宿	5 名	定時総会 2024 の開催及び当日運営補助
③R6. 9. 20(金)	専修大学神田 校舎 10 号館	2 名	事業部分科会の開催
④R6. 11. 22(金)	専修大学神田 校舎 10 号館	1 名	第 16 回ワイン大学の開催及び当日運営
⑤R7. 2. 5(水)	専修大学神田 校舎 10 号館	4 名	事業部会の開催 【中止】新校友歓迎祝賀会の開催 ※令和 6 年度中に開催された事業部が分掌 する校友会主催行事の実施状況及び事業 部独自の活動について記載。

[別 紙]

令和6年度 事業報告

執行部会名 組織部

部 長 名 橘 幸弘

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
10月17日	池袋	1名	豊島支部の再興についてヒアリングを実施した。
1月30日	神保町	8名	組織部部会を開催 城東・城北連合支部の休眠支部である豊島支部、荒川支部の再興と活動を休止している練馬支部について情報を共有した。
2月10日	神保町	1名	練馬支部の活動の再開について、練馬支部役員の鈴木雅美氏と打ち合わせを実施。 役員の改選含め、活動しやすい支部への移行を計画することとした。

〔別 紙〕

令和6年度 事業報告

執行部会名 文化広報部

部 長 名 坂口 文哉

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
令和6年			鳳翼発行業務
4月15日	校友会応接室	5名	「鳳翼108号」編集会議
7月12日	校友会応接室	5名	「鳳翼109号」編集会議
10月15日	校友会応接室	7名	「鳳翼110号」編集会議
令和7年			
1月15日	校友会応接室	4名	「鳳翼111号」編集会議

事業名	議事・事業内容
鳳翼の電子化配信	→ 未実施／令和7年度事業として継続 鳳翼の電子化配信の準備検討を行う
現役生へのアプローチ	→ 未実施／令和7年度事業として継続 メンターづくりに寄与するための準備検討を行う
卒業5年目以降のOB（校友） に対するケア	→ 未実施／令和7年度事業として継続 校友会費継続納入いただくためのアイデアを出し、 準備検討を行い実行につなげる
大学の歴史を学ぶ講座の 定期開催	→ 未実施／令和7年度事業として継続 大学の歴史、文化を学ぶ講座を定期的に行う

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
令和6年			専 SHOKU NET ワーキンググループ 会議
4月23日	46ゼミ室	2名	サイトの活用促進会議
6月14日	エアネット社	1名	サイトデザイン会議
7月17日	41ゼミ室	1名	サイトの活用促進会議
7月30日	エアネット社	1名	サイトデザイン会議
8月 9日	エアネット社	1名	サイトデザイン会議
8月27日	41ゼミ室	2名	サイトの活用促進会議
10月10日	エアネット社	1名	サイトデザイン会議
10月22日	46ゼミ室	1名	サイトの活用促進会議
11月15日	46ゼミ室	1名	サイトの活用促進会議
令和7年			サイトの活用促進会議
1月21日	45ゼミ室	1名	サイトの活用促進会議
3月 5日	43ゼミ室	2名	サイトの活用促進会議

[別 紙]

令和6年度 事業報告

執行部会名 体育振興部

部 長 名 岡嶋 紀夫

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
令和6年 9月4日	事務局	4	第39回グリーンカップゴルフ大会開催に向けての打合せ
10月3日	平川 CC	4	第39回グリーンカップゴルフ大会前日打合せ
10月4日	平川 CC	4	全国から50名の校友に参加いただき盛会に行われました。今大会では、レジェンズツアーで活躍中の女子プロゴルファーの北島順子さん（平4経済）、第29代WBC世界バンタム級チャンピオンの山中慎介さん（平17商業）、元フィギュアスケーター渡部絵美さんらも参加され、校友の皆さんと懇親を深め楽しい時間を過ごしました。 表彰式・懇親会において参加者有志から56,000円のご厚志をいただき、大学に寄付いたしました。
令和7年 3月14日	小金井 CC	2	来期開催の第40回グリーンカップゴルフ大会開催地の小金井カントリー倶楽部での打合せ。令和7年10月17日（金）開催。

I

令和6年度一般会計収支決算書(案)

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款 会費収入	84,660,000	82,041,000	2,619,000	令和6年度卒業生 4,267名×@15,000円= 64,005,000円 (専修大学:3,965名 石巻専修大学:302名) 既卒者等 5,979名× @3,000円= 17,937,000円 賛助会員 33名× @3,000円= 99,000円 合 計 82,041,000円
第2款 入会金収入	45,000,000	48,090,000	△ 3,090,000	令和6年度入学生他
1.入学時払込金	45,000,000	48,090,000	△ 3,090,000	専修大学 4,526名 (定員4,000名)
2.その他払込金	0	0	0	石巻専修大学 283名 (定員 440名)
				計 4,809名 @10,000
第3款 雑収入	3,501,000	4,848,373	△ 1,347,373	
1.受取利息	1,000	60,745	△ 59,745	普通預金・定期預金利息
2.その他	3,500,000	4,787,628	△ 1,287,628	広告料,年会費コンビニ振込手数料,校友会行事会費,寄付金,祝金他
第4款 カード手数料収入	450,000	461,346	△ 11,346	
1.会員募集手数料	90,000	50,600	39,400	入会者 46名 (@1,000一般カード・学生カード)
2.提携手数料	360,000	410,746	△ 50,746	利用高 209,490,987円*0.002
経常収入計	133,611,000	135,440,719	△ 1,829,719	
第5款 前年度繰越金	51,762,940	51,762,940	0	
合 計	185,373,940	187,203,659	△ 1,829,719	

《支出の部》

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款 経常費	85,300,000	63,634,181	21,665,819	
1.総会費	7,500,000	6,164,373	1,335,627	定時総会(ホテル経費,参加者への記念品代他)
2.会議費	5,500,000	1,457,762	4,042,238	代議員会,幹事会,会長・副会長会,各種委員会,全国支部長会議他
3.事務委託費	10,000,000	10,000,000	0	本部事務委託費
4.執行部会経費	1,500,000	779,459	720,541	6部会費,黒門倶楽部事業費,専SHOKU NET事業費他
5.通信運搬費	33,000,000	26,100,539	6,899,461	年会費納入依頼,ニュース専修,会報誌,大学募金への支援協力他
6.印刷費	9,000,000	6,623,728	2,376,272	議案書,各種パンフレット,支部・行事関係,大学募金への支援協力他
7.備品事務用品費	800,000	342,289	457,711	事務局文房具代,OA機器消耗品代,複合機リース代,コピー代他
8.慶弔費	4,000,000	3,056,350	943,650	祝金,弔慰金,見舞金他
9.旅費交通費	10,000,000	7,586,869	2,413,131	支部総会,会議・行事出張旅費他
10.雑費	4,000,000	1,522,812	2,477,188	コンビニネット手数料,来訪者接待茶代,記念品代他
第2款 会報制作費	17,000,000	15,602,902	1,397,098	会報誌『鳳翼』制作費
第3款 学生活動助成金	24,500,000	22,134,740	2,365,260	
1.学生行事助成金	2,500,000	900,000	1,600,000	鳳祭,連合県人会,学生自治会,体育会表彰式等援助金他
2.学生援助金	16,000,000	15,234,740	765,260	体育会援助金,サークル団体援助金,学修環境整備支援,国内留学支援,食料支援プロジェクト他
3.特別支援助成金	6,000,000	6,000,000	0	野球部・ラグビー部・陸上部への特別支援強化費用
第4款 支部活動援助金	18,500,000	8,247,754	10,252,246	
1.支部活動援助金	15,000,000	5,446,554	9,553,446	支部総会時祝金,参加費,事務補助費,特別活動補助費,支部新設等活動補助費他
2.同窓会援助金	3,500,000	2,801,200	698,800	同窓会への援助金(石巻専大同窓会・北海道短大同窓会)
第5款 事業費	11,000,000	5,345,567	5,654,433	
1.入会促進費	1,000,000	342,605	657,395	入会案内書制作費,カード募集案内他
2.校友会主催事業費	8,000,000	3,213,126	4,786,874	グリーンカップ・ゴルフ大会,ワイン大学,留学生を囲む会,顧問・相談役・参与懇談会他
3.卒業記念品費	1,800,000	1,776,500	23,500	卒業記念品バッジ作製代
4.校友文庫	200,000	13,336	186,664	校友著作図書購入
第6款 予備費	1,000,000	0	1,000,000	
経常支出計	157,300,000	114,965,144	42,334,856	
第7款 基金積立	25,200,000	25,200,000	0	
1.校友会基金積立	15,000,000	15,000,000	0	校友会特別事業他
2.奨学生基金積立	7,500,000	7,500,000	0	校友会奨学生基金給付金,大学独自の奨学金への支援
3.スポーツ・文化振興基金積立	2,700,000	2,700,000	0	スポーツ・文化功労者への顕彰基金
支出計	182,500,000	140,165,144	42,334,856	
第8款 次年度繰越金	2,873,940	47,038,515	△ 44,164,575	
合 計	185,373,940	187,203,659	△ 1,829,719	

II 令和 6 年度 校友会基金特別会計 収支決算書 (案)

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

《収入の部》 (単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	15,000,000	15,000,000	0	
第2款	受取利息	2,000	67,067	△ 65,067	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	125,718,987	125,718,987	0	
	収入の部 合計	140,720,987	140,786,054	△ 65,067	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	次年度繰越金	140,720,987	140,786,054	△ 65,067	
	支出の部 合計	140,720,987	140,786,054	△ 65,067	

III 令和 6 年度 校友会奨学生基金特別会計 収支決算書 (案)

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

《収入の部》 (単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	7,500,000	7,500,000	0	
第2款	受取利息	1,000	13,505	△ 12,505	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	奨学金手数料	20,000	37,770	△ 17,770	
第4款	前年度繰越金	25,314,454	25,314,454	0	
	収入の部 合計	32,835,454	32,865,729	△ 30,275	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	奨学費支出	10,000,000	6,000,000	4,000,000	専修大学へ支援5,000,000円, 給付金7件
第2款	次年度繰越金	22,835,454	26,865,729	△ 4,030,275	
	支出の部 合計	32,835,454	32,865,729	△ 30,275	

IV 令和 6 年度 校友会スポーツ・文化振興基金特別会計 収支決算書 (案)

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

《収入の部》 (単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	2,700,000	2,700,000	0	
第2款	受取利息	1,000	7,140	△ 6,140	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	13,384,344	13,384,344	0	
	収入の部 合計	16,085,344	16,091,484	△ 6,140	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	顕彰基金支出	2,700,000	1,870,000	830,000	校友会学生奨励賞奨励金52件
第2款	次年度繰越金	13,385,344	14,221,484	△ 836,140	
	支出の部 合計	16,085,344	16,091,484	△ 6,140	

貸 借 対 照 表 (案)

令和 7 年 3 月31日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	104,087,515	流動負債	57,049,000
現金及び預金	104,087,515	前 受 金	56,069,000
		仮 受 金	980,000
固定資産	183,441,377	正味財産の部	230,479,892
器 具 備 品	1,568,110	正味財産	230,479,892
校友会基金特定預金	140,786,054	(うち校友会基金)	(140,786,054)
校友会奨学生基金特定預金	26,865,729	(うち奨学生基金)	(26,865,729)
校友会スポーツ・文化振興基金特定預金	14,221,484	(うちスポーツ・文化振興基金)	(14,221,484)
資 産 合 計	287,528,892	負債・正味財産合計	287,528,892

財 産 目 録 (案)

令和 7 年 3 月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	104,087,515
現金	0
郵便振替	106,079
普通預金	91,990,903
普通預金	11,990,533
流動資産合計	104,087,515
固定資産	
器具備品	1,568,110
備品	505,680
備品	320,000
	742,430
校友会基金特定預金	140,786,054
定期預金	140,786,054
校友会奨学生基金特定預金	26,865,729
定期預金	26,865,729
校友会スポーツ・文化振興基金特定預金	14,221,484
定期預金	14,221,484
固定資産合計	183,441,377
資 産 合 計	287,528,892
負債の部	
流動負債	
前 受 金	44,660,000
前 受 金	11,409,000
仮 受 金	980,000
負債合計	57,049,000
差引正味財産	230,479,892

(注:器具備品については取得価格で記載)

I 令和 7 年 度 一 般 会 計 収 支 予 算 書 （案）

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

《収入の部》 (単位:円)

科 目	7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款 会費収入	82,599,000	84,660,000	△ 2,061,000	令和7年度卒業生 4,300名×@15,000円=64,500,000円 (専修大学:4,000名 石巻専修大学:300名) 既卒者等 6,000名× @3,000円=18,000,000円 賛助会員 33名× @3,000円= 99,000円 合 計 82,599,000円
第2款 入会金収入	47,000,000	45,000,000	2,000,000	令和7年度入学生他 4,700名×@10,000円=47,000,000円
1.入学時払込金	47,000,000	45,000,000	2,000,000	専修大学 4,400名 (定員4,000名)
2.その他払込金	0	0	0	石巻専修大学 300名 (定員 440名)
				合 計 4,700名 @10,000
第3款 雑収入	4,460,000	3,501,000	959,000	
1.受取利息	60,000	1,000	59,000	普通預金・定期預金利息
2.その他	4,400,000	3,500,000	900,000	広告料, 年会費コンビニ振込手数料, 校友会行事会費, 寄付金, 祝金
第4款 カード手数料収入	456,000	450,000	6,000	
1.会員募集手数料	46,000	90,000	△ 44,000	入会者 46 名 (@1,000一般カード・学生カード)
2.提携手数料	410,000	360,000	50,000	参考: 利用高 209,490,987円*係数0.002
経常収入計	134,515,000	133,611,000	904,000	
第5款 前年度繰越金	47,038,515	51,762,940	△ 4,724,425	
合 計	181,553,515	185,373,940	△ 3,820,425	

《支出の部》

科 目	7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款 経常費	84,300,000	85,300,000	△ 1,000,000	
1.総会費	7,500,000	7,500,000	0	定時総会(ホテル経費,参加者への記念品代他)
2.会議費	5,000,000	5,500,000	△ 500,000	代議員会, 幹事会, 会長・副会長会, 各種委員会他
3.事務委託費	10,000,000	10,000,000	0	本部事務委託費
4.執行部会経費	2,000,000	1,500,000	500,000	6部会費, 黒門倶楽部事業費, 専SHOKUNET事業費他
5.通信運搬費	33,000,000	33,000,000	0	年会費納入依頼,ニュース専修,会報誌,大学募金への支援協力他
6.印刷費	9,000,000	9,000,000	0	議案書,各種パンフレット,支部・行事関係,大学募金への支援協力他
7.備品事務用品費	800,000	800,000	0	事務局文房具代, OA機器消耗品代, 複合機リース代, コピー代
8.慶弔費	4,000,000	4,000,000	0	祝金, 弔慰金, 見舞金, 義援金他
9.旅費交通費	9,000,000	10,000,000	△ 1,000,000	支部総会, 会議・行事出張旅費
10.雑費	4,000,000	4,000,000	0	コンビニネット手数料, 来訪者接待茶代, 記念品代他
第2款 会報制作費	17,000,000	17,000,000	0	会報誌『鳳翼』制作費
第3款 学生活動助成金	25,000,000	24,500,000	500,000	
1.学生行事助成金	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	鳳祭, 連合県人会, 学生自治会, 体育会表彰式等援助金他
2.学生援助金	17,000,000	16,000,000	1,000,000	体育会, サークル団体援助金, 学修環境整備支援, 国内留学支援, 学生生活支援プロジェクト他
3.特別支援助成金	6,000,000	6,000,000	0	野球・ラグビー・陸上への特別支援強化費用
第4款 支部活動援助金	16,500,000	18,500,000	△ 2,000,000	
1.支部活動援助金	13,000,000	15,000,000	△ 2,000,000	支部総会時祝金, 参加費, 事務補助費, 特別活動補助費, 支部新設等活動補助費他
2.同窓会援助金	3,500,000	3,500,000	0	同窓会への援助金(石巻専修大学同窓会・北海道短期大学同窓会)
第5款 事業費	11,150,000	11,000,000	150,000	
1.入会促進費	1,000,000	1,000,000	0	入会案内書制作費他, カード募集案内
2.校友会主催事業費	8,000,000	8,000,000	0	グリーンカップ・ゴルフ大会, 専修大学ホームカミングデー, ワイン大学, 留学生を囲む会, 顧問・相談役・参与懇談会他
3.卒業記念品費	2,000,000	1,800,000	200,000	卒業記念品バッジ作製代
4.校友文庫	150,000	200,000	△ 50,000	校友著作図書購入
第6款 予備費	1,000,000	1,000,000	0	
経常支出計	154,950,000	157,300,000	△ 2,350,000	
第7款 基金積立	25,200,000	25,200,000	0	
1.校友会基金積立	15,000,000	15,000,000	0	校友会特別事業他
2.奨学生基金積立	7,500,000	7,500,000	0	校友会奨学生基金給付金, 大学独自の奨学金への支援
3.スポーツ・文化振興基金積立	2,700,000	2,700,000	0	スポーツ・文化功労者への顕彰基金
支出計	180,150,000	182,500,000	△ 2,350,000	
第8款 次年度繰越金	1,403,515	2,873,940	△ 1,470,425	
合 計	181,553,515	185,373,940	△ 3,820,425	

Ⅱ 令和 7 年度 校友会基金特別会計 収支予算書（案）

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

《収入の部》 (単位:円)

	科 目	7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	15,000,000	15,000,000	0	
第2款	受取利息	80,000	2,000	78,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	140,786,054	125,718,987	15,067,067	
	収入の部 合計	155,866,054	140,720,987	15,145,067	

《支出の部》

	科 目	7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	次年度繰越金	155,866,054	140,720,987	15,145,067	
	支出の部 合計	155,866,054	140,720,987	15,145,067	

Ⅲ 令和 7 年度 校友会奨学生基金特別会計 収支予算書（案）

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

《収入の部》 (単位:円)

	科 目	7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	7,500,000	7,500,000	0	
第2款	受取利息	15,000	1,000	14,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	奨学金手数料	30,000	20,000	10,000	
第4款	前年度繰越金	26,865,729	25,314,454	1,551,275	
	収入の部 合計	34,410,729	32,835,454	1,575,275	

《支出の部》

	科 目	7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	奨学費支出	10,000,000	10,000,000	0	経済支援奨学生4,000,000円、災害見舞奨学生1,000,000円、大学へ5,000,000円
第2款	次年度繰越金	24,410,729	22,835,454	1,575,275	
	支出の部 合計	34,410,729	32,835,454	1,575,275	

Ⅳ 令和 7 年度 校友会スポーツ・文化振興基金特別会計 収支予算書（案）

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

《収入の部》 (単位:円)

	科 目	7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	2,700,000	2,700,000	0	
第2款	受取利息	5,000	1,000	4,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	14,221,484	13,384,344	837,140	
	収入の部 合計	16,926,484	16,085,344	841,140	

《支出の部》

	科 目	7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	顕彰基金支出	2,700,000	2,700,000	0	スポーツ部門700,000円、文化部門2,000,000円
第2款	次年度繰越金	14,226,484	13,385,344	841,140	
	支出の部 合計	16,926,484	16,085,344	841,140	

令和7年度校友会・育友会共催「留学生を囲む会」開催結果について

1. 開催日時 令和7年4月12日（土） 12:45 ～ 14:40

2. 開催場所 神田キャンパス10号館16階「相馬永胤記念ホール」

3. 参加者数 114名（令和6年度124名）

〔内 訳〕①新入留学生：27名（令和6年度37名）

経済7名 法5名 経営3名 商3名 文4名 ネットワーク情報1名 人間科学0名

国際コミュニケーション2名 大学院生2名

②特別聴講生（交換留学生）：6名

③新入留学生以外の留学生：18名

（中国留学生^{れんぎかい}聯誼会12名、韓国留学生会6名）

④日本人学生：18名（令和6年度16名）

（レジデント・パートナー5名、レジデント・アシスタント4名、国際交流会（SHIP）9名）

⑤男声合唱団グリークラブ：15名

⑥法人役員：1名（令和6年度0名）

⑦教員（学生部長、国際交流センター長・同委員）：9名（令和6年度12名）

⑧校友会からの出席者：5名（令和6年度8名）

⑨育友会からの出席者：6名（令和6年度7名）

⑩国際交流事務課：9名（令和6年度10名）

4. 新入留学生への配布物

①プログラム（裏面に校歌歌詞・アンケート） ②動画（育友会作成）視聴のご案内

③記念品（マグカップ） ④日用品 ⑤クリアファイル（3枚組） ⑥校友会のご案内

⑦会報『育友』NO.180 ⑧育友会活動のご案内2025

5. 進行内容

①主催者挨拶

12:45～12:53 北川育友会副会長の司会で、桃野校友会会長及び溝田育友会会長が主催者挨拶。

②学生団体紹介

12:53～13:00 「中国留学生^{れんぎかい}聯誼会」、「韓国留学生会」、「国際交流会（SHIP）」の各代表から挨拶を兼ねて活動内容を紹介した。

③写真撮影

13:01～13:09 ホール前方のステージ付近にて全員で写真撮影を行った。

④乾杯・懇談

13:09～13:55 奥村国際交流センター長の乾杯の音頭のあと懇談会を開催した。

⑤じゃんけん大会

13:55～14:10 溝田育友会長と参加学生全員でじゃんけんにより景品を贈呈。じゃんけん大会の景品は、校友・育友会役員並びに大学関係者より提供された。

⑥「男声合唱団グリークラブ」による演奏（OBが中心）

14:15～14:30 日々の活動を紹介するとともに「校歌」と応援歌「エール専修」を含め4曲を演奏して留学生を歓迎した。

⑦校歌斉唱

14:31～14:34 会場の全員で校歌を斉唱した。

⑧閉会の挨拶

14:34～14:38 佐竹学生部長より挨拶をいただき、和やかなうちに会が閉会した。

6. アンケート集計結果

アンケート回収数 44名

〈 内訳 〉

Q 良かったプログラムはありますか

※複数回答あり

①	懇談会	19
②	じゃんけん大会	24
③	男声合唱団グリークラブによる演奏	24
④	その他（食事がおいしかった/校歌斉唱）	3

Q 感想を記入してください。

※：複数記述あり

※様々な国の留学生と交流ができて楽しかった／とても有意義だった／雰囲気がよかった

※留学生の不安が少しでも解消できればうれしく思う

※男声合唱団グリークラブの演奏に感動した／素晴らしかった

※食事がおいしかった

▲先生方の挨拶を聞いて、専修大学に入学できてよかったと感じている

▲学部・学年の枠を超えて交流ができ、貴重な経験をした

▲先生方・先輩方がとても親切だった

▲参加したことで友人ができ、これからの生活が楽しみである

▲不安な気持ちを相談できてよかった

▲留学生の相談に乗ることができてよかった

▲留学生との交流が有意義で来年も参加したい

▲昨年よりも食事が種類・量ともに多く満足した

▼懇親会の時間がもう少しあったら、うれしかった

以 上

今後の会議・行事等日程について

令和7年

5月 8日（木）

15:00 「校友会監査」〈場所：神田キャンパス内〉

＊令和6年度 事業報告・決算報告について

○出席者は、監査、総務企画部・財務部の担当副会長、部長のみ

5月23日（金）

19:00 「幹事会」〈場所：神田キャンパス内〉

＊令和6年度 事業報告・収支決算、監査報告について

＊令和7年度 事業計画・収支予算（案）について ほか

6月15日（日）

11:30 「代議員会」〈場所：神田キャンパス内〉

＊令和6年度 事業報告・収支決算、監査報告について

＊令和7年度 事業計画・収支予算（案）について ほか

○終了後に、「代議員懇親会」の開催を予定しています。

7月 5日（土）

（11:00 「黒門倶楽部総会」〈場所：京王プラザホテル新宿〉）

12:00 「校友会定時総会2025」〈場所：京王プラザホテル新宿〉

＊詳細は追ってご案内いたします。

以 上